

答え①

心（お魅）のおみそ汁（「今日、心のおみそ汁よ。」）

マサくんは、「今日心のおみそ汁」を「恐怖のおみそ汁」と聞きまちがえてしまったのだ。いったい、どんな具を想像したのだろう。（笑）
このように、言葉の区切りを変えて読むことを、『ぎなた読み』と言う。

いじわるな男の子から「ねえ、ちゃんとお風呂入ってる？」と聞かれたことはありませんか。



答え②

お兄ちゃんがほかにもいた

「ぼくと弟」の二人兄弟だと、つじつまが合わないけれど、他にも兄弟がいると考えればいいんだ。たとえば、ぼくの上にお兄ちゃんがいるたり、ぼくと弟の間に兄弟がいたりして、その子が仮面ライダーを好きってこと。

はたまた、近所のお兄ちゃんのことを言っていたのかもしれないね。（笑）

答え③

国語辞典の中

辞書のページを先頭からめくると、「あ」が頭につく言葉から出てくるよね。だから、ここでは、「あき」→「はる」→「なつ」→「ふゆ」とやってくる、というわけだ。

答え④

4組

それぞれの動物の名前の「文字の数」を使って、クラス分けをしていたんだよ。

ゾウ = 2文字 = 2組
ラクダ = 3文字 = 3組
キリン = 3文字 = 3組 だから、
ライオン = 4文字 = 4組 というわけ。

キリンは、胃袋が4つあるって、知ってた？
ラクダは、3つあるんだって。

